平成25年6月18日

報道機関各位

株式会社エフエムいみず
代表取締役社長　柴田茂樹

射水市北部地域における
「エフエムいみず」の受信状況調査結果について

拝啓　ますますご清祥のことと、お喜び申し上げます。
日頃は格別のご理解とご支援をいただき、ありがたくお礼申し上げます。

さて、ご案内の通り、当社では、6月15日（土）に、射水市北部地域における「エフエムいみず」の受信状況調査を実施しました。今回の調査では、「ホーチキ株式会社」のご協力を得て、緊急時に自動起動する最新型の防災ラジオを使用いたしました。

現在、「エフエムいみず」の送信アンテナは、射水市中太閤山にあるショッピングセンター「パスコ」の屋上に設置されており、電波を伝搬する上では好条件の場所と考えていますが、旧新湊市など射水市北部地域では聴こえにくいというご指摘も頂いていました。

しかしながら、調査の結果、ロッドアンテナによる受信では、調査地点10ヶ所中4ヶ所が「極めて良い」受信状況であり、残り6ヶ所は少し雑音があるものの「良い」という受信状況であることを確認しました。また、エフエム専用アンテナを接続しての電界強度測定では、全ての調査地点で「極めて良い」受信状況であることを確認しました。

射水市は、半径約7kmのコンパクトな地域で地形もほぼ平坦なため、コミュニティ放送のエリアとしては理想的であり、今回の調査結果からは、聴こえにくいという地区であっても、エフエム専用アンテナを設置すれば、市内のほとんどの地域で完璧な受信が可能であることが明らかになりました。

最近では、多くの自治体で、災害発生時などに自動起動する防災ラジオのシステムを導入する事例が見られますが、「エフエムいみず」の電波を防災ラジオのシステムに利用することを想定した場合においても、何の問題もなく作動する状況であることが裏づけられました。

近年、災害時においてコミュニティFMの有効性が評価されていることから、当社では、今後も市内各地での電波の受信状況を調査する予定です。調査の結果をもとに、各家庭や公共施設等にエフエム専用アンテナの設置を勧めるなど、受信環境の整備・改善に取り組んで参りたいと考えています。

＜添付資料＞

①受信状況調査の概要
②結果一覧表
③参考資料（SINPOコードについて）